

## 大学教育再生加速プログラム(AP) 中間評価結果

整理番号	53	大学等名	文化学園大学
テーマ	テーマⅣ 長期学外学修プログラム（ギャップイヤー）		

### 【総括評価】

A：計画どおりの取組であり、現行の努力を継続することによって本事業の目的を達成することが期待できる。

### 【コメント】

<優れている点>

- ・AP 事業に選定されたことにより、教職員や学生の意識変革が起り、グローバル化を具体的な形で推進しようとする機運が醸成されつつある。本事業の一環として、外国語科目の導入、海外での語学研修の機会の充実、外部の語学試験による単位認定の導入など、学生の外国語の主体的学習の奨励に努めていることは評価できる。
- ・議決機関である「APプログラム推進協議会」の設置や推進・実行機関の改組等により、全学的な実施体制が構築されている。また、本事業をスムーズに行うため、専門スタッフを雇用し、海外との交渉や連絡を円滑かつ効率的に進めるようにしたことも評価できる。
- ・ファッション分野における「グローバル創造力」の養成を目的に、各年度の計画に基づき、着実に事業を展開している。海外学修プログラム及び国内学修プログラムの実施地域の新規開拓を積極的に行い、拡大させていることは評価できる。
- ・「APプログラム推進協議会」が担ってきた役割は、補助期間終了後は「国際交流委員会」が推進する体制となっており、また、独自の予算も有しているため、補助期間終了後も継続して事業を展開できると評価できる。
- ・国際シンポジウムを開催し、学外学修プログラムの紹介及び参加した学生の報告会を実施するなど、事業成果の普及に努めていることは評価できる。

<改善を要する点>

- ・「梅春学期」を新設し、教育効果の高い1・2年次生向けに学外学修プログラムを提供していることは評価できるが、1ヶ月と短期で成果も限られたものになるので、長期的な学外学修プログラム実施に向け、4学期制導入に向けた検討をする必要がある。また、参加学生を増やすための努力を、支援策も含めて行っていく必要がある。
- ・補助期間終了後の事業継続に向けた体制強化を更に図っていく必要がある。